



主な内容

- ▶令和元年度事業報告 2～3
- ▶令和元年度決算報告 4
- ▶ぼらせん通信・災害義援金の受付 5
- ▶生活サポートセンターからのお知らせ・
よらんしょネット 6
- ▶寄付報告 7
- ▶社協からのお知らせ 8

喜多方市社会福祉協議会公式
facebook



買物代行支援を行いました。

新型コロナウイルスの影響で外出や家族の来訪が制限される中、一人暮らし高齢者（高郷地区）の生活支援として、高郷地区ふれあい福祉協議会の協力により買物代行支援事業を実施しました。

利用を希望された方から生活必需品の要望を伺い、市内のスーパー等で買物を代行してご自宅に届けました。利用された皆さんからは「子供がコロナで来ることが出来なかったので、とても助かった」など、感謝の声をいただきました。



令和元年度社会福祉法人喜多方市社会福祉協議会主な事業報告

◎介護職員養成・定着化事業 (介護パワーアップ事業)

1) 介護職員初任者研修

本市の介護職員不足の解消を図るため、介護人材の育成を目的として実施しました。

◆受講者数 14名

2) キャリアアップ研修支援事業

市内の施設に勤務している介護職員の安定的雇用につなげるため研修費用を助成しました。

◆実務者研修受講者数 9名

◆初任者研修受講者数 4名

3) 介護職員就労定着奨励金事業

介護職として市内の同一事業所に1年以上就業した方に対し奨励金を支給しました。

◆奨励金支給者

市内在住者 28名

市外在住者 13名

◎ふれあいきたかた社協まつり

市民の皆さまに「社協」を身近に感じ、社協や共同募金等の福祉活動を一層理解していただく機会として開催しました。

◆来場者数 341名



盲導犬の体験歩行

◎「ふれあいいきいきサロン」への活動支援

高齢者同士がともに助け合い・支え合いながら、健康で生きがいある交流の場とすることを目的に「ふれあいいきいきサロン」の開設と運営を支援しました。

◆サロン数 38ヶ所



譲屋サロンで介護予防カルタ

◎福祉と介護の出張講座

市内小中高校での福祉教育に関する授業や、機関・団体等が主催する各種集会等に職員を派遣し、福祉への理解と普及に努めました。

◆派遣回数 2回(5日間)

◆参加者数(延べ) 202名

また、介護職員初任者養成研修として耶麻農業高校へ9回の講師派遣を行いました。



高齢者についての学習(喜多方高校)

◎第15回喜多方市社会福祉大会

広く市民の方々が一堂に会し「ふれあいと喜び多いまちづくり」を推進していくことを誓うとともに、社会福祉に功績のあった個人、団体の表彰や感謝状の贈呈、また小中学生による福祉作文優秀作品の発表も行いました。

◆記念講演

「笑いは元気の常備薬

～ほげないためにボケまくる～」

◆講師 コント山口君と竹田君
(コメディアン)

◆参加者数 380名



記念講演(コント山口君と竹田君)

◎ふれあい社会福祉講座

福祉を正しく見る目と豊かな想像力を養い、社会福祉の推進に資することを目的として3講にわたり開催しました。

◆聴講者数(延べ) 285名

◎福祉団体の育成支援

市内11福祉団体の事務局を担い、市民が主体となって活動する福祉団体の育成・支援を行いました。

◎児童・生徒のボランティア活動普及事業

心豊かな児童・生徒を育成するため、市内の26小・中・高等学校をボランティア協力校として指定し、特色ある福祉教育の推進を支援しました。

◎サマーショート ボランティアスクール

「福祉の心」を育むため、夏休み期間を利用して小・中・高校生を対象にボランティア体験の場を提供しました。

◆参加者数 40名



高齢者擬似体験

◎おもちゃ図書館事業

子ども達がおもちゃや絵本を通して、人間性豊かに成長することを支援するとともに、保護者同士の交流の場を提供するため実施しました。

◆開館日数 140日

◆年間利用人数(延べ) 4,253名



夏祭りで流しそうめん

◎第2層生活支援支え合い会議の設置

地域における支え合いの仕組みを協議する場として、山都地区と駒形地区において生活支援支え合い会議の設置に向けた支援を行いました。

- ◆山都地区 令和元年12月16日設立
- ◆駒形地区 令和2年2月22日設立

◎傾聴ボランティア事業

高齢者等の孤独感や不安感の軽減と精神的な健康維持を図るため、市内の12福祉施設でのボランティア活動に係るコーディネートを行いました。

また、講座を開催し、ボランティアの養成も行いました。

- ◆ボランティア登録者 32名
- ◆ボランティア活動回数(延べ) 265回

◎福祉レクリエーション事業

レクリエーションボランティアを養成し、地域の高齢者サロン等でのボランティア活動をコーディネートしました。

- ◆ボランティア活動回数 15回



レクリエーションボランティア

◎子育て支援事業

本会が実施するおもちゃ図書館や地域での子育て活動をするボランティアの養成・支援を行いました。

- ◆ボランティア活動回数 35回

◎フードバンク事業

コープフードバンクや市民の方々等より提供いただいたフードバンク品について、生活にお困りの世帯や市内の子ども食堂などに食料品の提供を行いました。

- ◆食料品提供実績(延べ) 138回
- ◆子ども食堂への提供実績(延べ) 26回

◎小口生活援助資金の貸付

低所得者の緊急的な生活支援を行うため、5万円を限度とする資金の貸付を行いました。

- ◆貸付件数 39件(1,794,000円)

◎日本赤十字社及び赤い羽根共同募金運動への協力

人道・博愛を目的とした日本赤十字社事業並びに地域福祉事業の財源となっている赤い羽根共同募金運動に対して協力しました。

- ◆日赤社資実績額 7,061,674円
- ◆共同募金実績額 8,401,308円
- ◆歳末たすけあい募金実績額 4,089,824円

◎災害支援

令和元年10月に発生した台風第19号の被災地支援として、現地災害ボランティアセンターへ職員を派遣しました。また、大規模災害特例の指定を受けた災害に対し、広報紙やホームページ等で義援金の募集を行うとともに、学生ボランティアによる街頭募金を実施しました。

- ◆被災地支援派遣職員(延べ)

- ◆義援金 44名 822,010円
- ◆学生ボランティア 5名



◎福祉活動支援交付金事業

福祉活動支援金を財源として、住民自らが地域の繋がりを深め、住み慣れた地域で安心して暮らせる地域づくりを行う活動に対し、行政区を単位として交付金を交付し活動を支援しました。

- ◆ミニサロン等事業 18行政区
- ◆交流事業 10行政区



東四ツ谷の世代間交流事業

◎ふれあいネットワーク事業

一人暮らし高齢者等を対象として、生活支援活動や見守り活動を行うふれあいネットワーク事業を実施しました。

- ◆ネットワーク活動件数(延べ) 1,754件

◎地域包括支援センター事業

高齢者の総合相談窓口として、また、介護予防や権利擁護事業等を実施しました。

- ◆相談対応件数 14,104件
- ◆介護予防等事業 50回
- ◆地域ケア会議 22回

◎生活サポートセンター事業

経済的な問題や就労等に関する様々な不安や悩みを抱えながら生活されている方々の相談・支援を行いました。

- ◆自立支援プラン策定件数 55件
- ◆内) 家計再生プラン件数 21件
- ◆就労決定件数 24件

福祉活動支援金御礼とご協力をお願い

< 福祉活動支援金の使い道 >

児童生徒のボランティア活動普及事業、サマーショートボランティアスクール事業、ボランティア活動の推進(傾聴・子育て・レクボラ、除雪)、おもちゃ図書館事業、高齢者サロン事業、ふれあい社会福祉講座、福祉関係団体への助成事業、高齢者等のいきがい支援事業、社協だよりの発行等



おもちゃ図書館(こいのぼり制作)



ふれあい社会福祉講座

令和元年度決算報告

(令和2年3月31日現在)

貸借対照表

(単位：円)

資産の部		負債の部	
流動資産	228,328,841	流動負債	128,521,984
現金預金	115,391,399	未払金	95,289,673
未収金	109,759,184	1年以内返済予定リース債務	6,680,880
立替金	913,630	預り金	722,022
前払金	151,075	職員預り金	197,716
短期貸付金	2,113,553	賞与引当金	25,631,693
固定資産	660,899,031	固定負債	419,642,205
基本財産	5,000,000	リース債務	22,769,640
定期預金	5,000,000	退職給与引当金	396,872,565
その他の固定資産	655,899,031	負債の部合計	548,164,189
建物	4,508,697	純資産の部	
構築物	193,808	基本金	5,000,000
機械及び装置	403,750	基本金	5,000,000
車両運搬具	7,955,961	基金	90,119,200
器具及び備品	2,753,390	社会福祉基金	64,009,200
有形リース資産	29,450,520	生活困窮者対策事業基金	26,110,000
退職給付引当資産	340,408,015	国庫補助金等特別積立金	5,297,343
特定預金	270,049,200	積立金	179,930,000
その他の固定資産	175,690	次期繰越活動収支差額	60,717,140
		(うち当期活動収支差額)	-983,550
		純資産の部合計	341,063,683
資産の部合計	889,227,872	負債及び純資産の部合計	889,227,872

令和元年度事業活動収支計算書

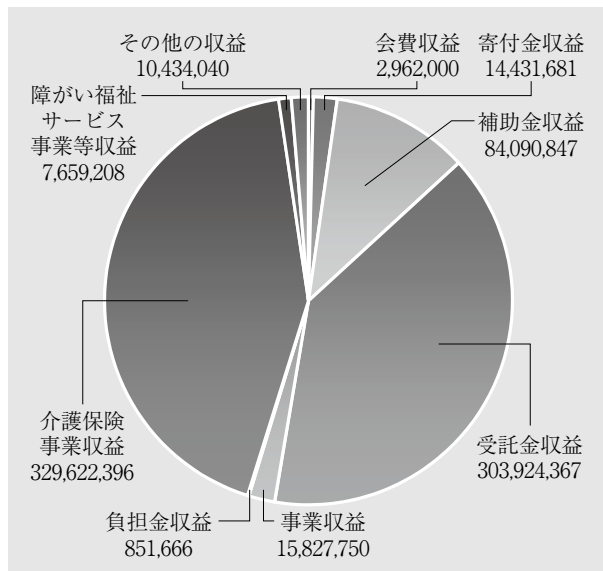
(単位:円)

	収 益	費 用	差 異
サービス活動増減の部	769,803,955	775,337,253	-5,533,298
サービス活動外増減の部	3,400,748	0	3,400,748
特別増減の部	1,149,000	0	1,149,000
合 計	774,353,703	775,337,253	-983,550

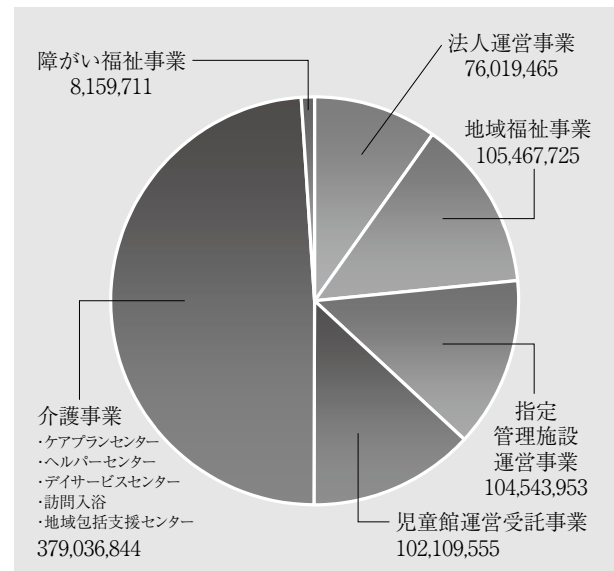
(当期活動収支差額)

＜サービス活動増減の部の内訳＞

収 益



費 用



ボランティアセンターでは、新型コロナウイルス感染症予防のため、各種ボランティア事業について、現在、活動を自粛しております。

なお、予定している各養成講座については、状況を鑑みて順次実施してまいりますので、ご理解くださるようお願いいたします。

こんな時だから💡 自宅で誰でもできるボランティア活動🎵

外出自粛などに影響されず、みなさん各々が自宅でできるボランティアがあります。それは「資源の寄付」です。本会では、以下の資源を募集しております。社協本・支所へご持参ください。ご協力よろしくお願いします。



「アルミ缶・プルタブ」 「エコキャップ」 「不要入れ歯」

視覚障がい者のみなさん!利用してみませんか?

普通の活字を読むことが難しい「視覚障がい者」に対して、喜多方市の広報紙「広報きたかた」を朗読し、録音したカセットテープを希望者に毎月届けています。利用料は無料です。ご希望の方はお気軽にお問い合わせ下さい。

※協力団体 朗読ボランティア「せきれいの会」

必要な方が周りにいらっしゃいましたら是非ご紹介下さい♪

<お問合せ先>

社会福祉法人 喜多方市社会福祉協議会 ボランティアセンター
電話：0241-23-3231



災害義援金の募集

「令和2年7月豪雨災害義援金」

令和2年7月3日以降、九州地方を中心に記録的な大雨となり、河川の堤防決壊等による洪水や土砂崩れ等の災害が発生し、災害救助法が適用されました。

この災害で被災された方々を支援するため、義援金の受付を行っております。

義援金は日本赤十字社福島県支部喜多方市地区及び福島県共同募金会喜多方市共同募金委員会を通じて、被災者の復興支援に使われます。

皆様のあたたかいご支援をよろしくお願いいたします。



受付場所

喜多方市社会福祉協議会本所・各支所

募金箱設置場所

喜多方市社会福祉協議会本所・各支所
喜多方市役所本庁・各総合支所

受付期間

令和2年12月24日(木)まで

日本赤十字社福島県支部喜多方市地区 / 福島県共同募金会喜多方市共同募金委員会

生活サポートセンターからのお知らせ

こんなことで困っていませんか？

- ・仕事が見つからない
- ・仕事が長続きしない
- ・働きたいが何から始めればよいかわからない
- ・社会に出るのが不安

仕事のこと



- ・毎月の家計がうまくまわらない
- ・家賃や公共料金が払えない
- ・税金を滞納している
- ・借金の返済が大変
- ・子どもの学費がない

お金のこと



- ・生活に不安がある
- ・家族が引きこもっている
- ・病気で働けなくなった
- ・病院へ行けない、治療費が払えない
- ・お金も食べ物もない

くらしのこと



生活の状況を一緒に考え、整理していく相談窓口です。
状況に応じハローワークや他関係機関へも同行支援します。

ご相談・
お問い合わせは

喜多方市生活サポートセンター（社会福祉法人 喜多方市社会福祉協議会内）

☎0241-23-7373までご連絡ください。

相談無料

秘密厳守 です。

一時的な生活資金の緊急貸付に関するご案内

福島県社会福祉協議会では、新型コロナウイルス感染症の影響による休業や失業等で収入が減少し生活資金でお悩みの世帯を対象に3月25日より特例貸付を実施しています。

喜多方市内に住民票がある方で貸付には①特例緊急小口資金、②総合支援資金（生活支援費）がありますのでご相談は下記の連絡先までお問い合わせください。また、ホームページでも内容をご覧ください。

お問い合わせ先

社会福祉法人 喜多方市社会福祉協議会

- 本 所 ☎0241-23-7373
- 塩 川 支 所 ☎0241-27-3948
- 高 郷 支 所 ☎0241-44-7111
- 熱塩加納支所 ☎0241-36-3112
- 山 都 支 所 ☎0241-38-3100

“よらんしょネット”

喜多方市地域包括支援センターだより

あなたの街の

「喜多方市地域包括支援センター」

お気軽にご相談ください。

TEL.0241-21-8856

熱中症に注意しましょう。



・人間は食事の他に1日1.2Lの水分補給が必要です。特に入浴や就寝はたくさん汗をかきますので「目覚めの1杯」「寝る前の1杯」の水を飲むように心がけましょう。

・のどが渇いていなくても、こまめに**水分補給**をしましょう！

・マスク着用は新型コロナウイルスの感染拡大防止に有効ですが、高温多湿といった環境下での着用は熱中症のリスクが高くなる恐れがあります。

・屋外で人と十分な距離(2メートル以上)を確保できる場合には適宜マスクを外すようにしましょう。

・マスクを着用しての強い負荷のかかる作業や運動は避けましょう。

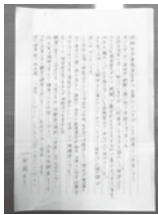
～ほっとNEWS～

◆市民の方からのお手紙◆

新型コロナウイルスの脅威が社会に大きな影響を及ぼし、日常が一変して7ヶ月が過ぎようとしています。「新しい生活様式」の実践の普及など、私たち一人ひとりが注意しながら生活をしていかなければなりません。

今年も、匿名の市民の方から善意のご寄付をお寄せいただきました。添えられたお手紙には、新型コロナウイルスに対する憂慮や、観光客の来訪がなく賑わいの減った市内の寂しい光景について、また、本会職員の健康を気遣われる内容が書かれていました。市民の方からは10年以上にわたりご寄付をお寄せいただいています。いつも職員への励ましのお言葉が添えられており、職員一同ありがたく読ませていただいております。お寄せいただいた市民の方におかれましてはもうどうぞお体に留意され、健康にお過ごしください。

今年もありがとうございました。



♥手作りマスクのご寄付♥

コロナ禍によりマスクの入手が困難な時期が続きましたが、市内外・県外の方々から社会福祉事業に役立ててほしいと手作りマスクのご寄付がありましたので報告いたします。

- ♥上町西区 遠藤恵子さん
- ♥三重県四日市市 西岡悠太さん
- ♥北町 菊田キミイさん
- ♥北海道札幌市 松本尚子さん
- ♥郡山市 橋本真由美さん
- ♥菅原町 北見千代子さん
- ♥塩川町柴城 渡部ツナヨさん

ありがとうございます



ご寄付ありがとうございました

お寄せいただいた寄付金は、地域福祉向上のため大切に役立たせていただきます。
(令和2年4月1日～令和2年6月30日受付分) (順不同・敬称略)

一般寄付

〈喜多方地区〉

- ・市民 昭和電工(株)
- ・喜多方事業所

〈山都地区〉

- ・小澤秀人
- ・上杉辰男

物品による寄付

〈喜多方地区〉

- ・小野清一郎
- ・木戸京子

〈塩川地区〉

- ・連沼キヨ子

〈高郷地区〉

- ・小林トラ

ご遺志による寄付

喜多方地区

- | | |
|-----------|-------|
| 上三宮町 譲屋 | 横山 義和 |
| 豊川町一ノ堰 一区 | 松川 孝平 |
| 長野県長野市 | 岩本由美子 |
| 下町北平 | 山寺 文昭 |
| 関柴町平林 | 山中 昇蔵 |
| 関柴町関柴 | 遠藤 榮喜 |
| 下町北部 | 大関 良弘 |
| 西四ツ谷 | 高橋 政幸 |
| 豊川町菅井 | 荒川 崇 |
| 関柴町下勝 | 東條 勝 |
| 栃木県宇都宮市 | 猪俣 善樹 |
| 東京都三鷹市 | 佐藤 隆司 |
| ひばりが丘 | 金子 健哉 |
| 花園町 | 山崎 繁 |
| 塗物町 | 山口みどり |
| 熊倉町熊倉上 | 柚木 利勝 |



- | | | |
|-----------|-----------|----------|
| 寺町二区 | 高橋 孝二 | 黒川 須田 崇 |
| 東四ツ谷 | 豊子 光弥 | 田中 加藤トキ子 |
| 慶徳町堀出 | 中嶋 美奈 | 根岸 小林 光喜 |
| 下町北部 | 冠木 雅夫 | 遠藤 眞 |
| 関柴町平林 | 遠藤 祥一 | |
| 栄町 | 澤田 良作 | |
| 塗物町 | 酒井 博 | |
| 豊川町高吉二区 | 大谷 要子 | |
| 松山町松が丘 | 渡部 勝子 | |
| 関柴町上高嶺 | 矢部 初恵 | |
| 寺町二区 | 平野 悦司 | |
| 西四ツ谷 | 鈴木 絵美 | |
| 豊川町渋井 | 立川 徹 | |
| 関柴町西中明 | 菅沼 秀正 | |
| 熊倉町熊倉上 | 猪俣 佑太 | |
| 熊倉町辻 | 五十嵐元輝 | |
| 豊川町堂畑 | 吉田 幸喜 | |
| 上三宮町譲屋 | 横山 清一 | |
| 松山町中村 | 芥川 邦子 | |
| 関柴町平林 | 菊池 弘保 | |
| 熊倉町熊倉下 | 星 廣之 | |
| 上三宮町見頃 | 澤田 康行 | |
| 熊倉町熊倉下 | 川島 博文 | |
| 塗物町 | 木村富士男 | |
| 豊川町長尾 | 後藤喜代志 | |
| 岩月町大沢 | 高崎 喜弘 | |
| 幸町 | 原 裕一 | |
| 松山町坂井 | 坂内 章一 | |
| 松山町北桜が丘 | 長澤 喜勝 | |
| 熱塩加納地区 | 塚原 和憲 | |
| 野辺沢 | 荒井 国友 | |
| 新崎 | 上野 宏 | |
| 高郷地区 | 利田 川井 | |
| 栗田 善市 | 清野 俊晴 | |
| 山都地区 | 木曾 伊藤 建市 | |
| 賢谷 長谷川 一人 | 堀沢 平野 茂夫 | |
| 上林 齋藤 吉光 | 千咲原 五十嵐 昇 | |
| 一ノ木 田中 雅利 | 木曾 伊藤 建市 | |
| 赤城恵美子 | | |
| 高郷地区 | | |
| 栗田 善市 | | |
| 山都地区 | | |
| 賢谷 長谷川 一人 | | |
| 上林 齋藤 吉光 | | |
| 一ノ木 田中 雅利 | | |
| 木曾 伊藤 建市 | | |
| 赤城恵美子 | | |
| 高郷地区 | | |
| 栗田 善市 | | |
| 山都地区 | | |
| 賢谷 長谷川 一人 | | |
| 上林 齋藤 吉光 | | |
| 一ノ木 田中 雅利 | | |
| 木曾 伊藤 建市 | | |
| 赤城恵美子 | | |

資源回収にご協力 ありがとうございます

ご協力いただいた皆様
※順不同・敬称略

企業・団体

- ・本田金属技術(株)喜多方工場
- ・駒形地区公民館
- ・喜多方市立慶徳小学校
- ・(有)耐伸建設

個人

- ・田部輝雄
- ・齋藤美恵子
- ・中丸登志子
- ・栢場トキ工
- ・小林正儀
- ・鈴木敏憲
- ・大関信二
- ・栢場信佳
- ・齋藤啓喜
- ・齋藤秀幸
- ・赤城恵美子
- ・高郷地区
- ・栗田 善市
- ・山都地区
- ・賢谷 長谷川 一人
- ・上林 齋藤 吉光
- ・一ノ木 田中 雅利
- ・木曾 伊藤 建市
- ・赤城恵美子
- ・高郷地区
- ・栗田 善市
- ・山都地区
- ・賢谷 長谷川 一人
- ・上林 齋藤 吉光
- ・一ノ木 田中 雅利
- ・木曾 伊藤 建市
- ・赤城恵美子



慶徳小



お知らせ - INFORMATION -

車いす同乗車両お貸しします！

公共交通機関や介護タクシー等を日常的に利用できない障がいをお持ちの方や高齢者の方々の外出を支援するため、市民の皆さんを対象に車いすごと同乗が可能な車両の貸し出しを行います。



- 利用対象者** ○車いすを使用して生活している方
○福祉車両を使用しなければ外出が困難な方
- 利用目的** ○施設や病院等への送迎
○買い物、レクリエーション、観光、リフレッシュ等社会活動への参加
- 利用期間** 原則として、12月29日から1月3日を除く土・日・祝日のうちの1日間

- 利用料金** 無料(燃料代、有料道路料金、駐車料金等は、利用者負担)
- 利用申込み** 利用日10日前までに申請書提出(予約は利用日の1ヵ月前から可能)

令和2年度 介護職員初任者研修(夜間コース)受講生募集

本会では、喜多方市からの委託を受け、介護の資格を取得して介護施設の職員やホームヘルパーとして働きたい方を対象として、介護職員初任者研修を開講します。

- 対象** ●全てのカリキュラムを受講可能な原則18歳以上65歳以下の方
●本会が指示する新型コロナウイルス感染予防対策を実践できる方
- 日程** 令和2年8月25日～12月15日(計47日)
※主に毎週火・水・木曜日
18:20～21:30まで
- 会場** 喜多方市塩川公民館 2F 郷土室
- 受講料** ①喜多方市、西会津町、北塩原村にお住まいの方…11,160円
②それ以外の方…16,160円
- 定員** 15名(定員超過の場合は、介護職員として就労希望の方を優先します)
- 申込** 本会本所・支所に備え付けの申込用紙に記載し、8月19日までに郵送又は持参によりお申し込みください。(申込書は本会ホームページからダウンロードできます)

◎研修内容や詳細なスケジュールは、本会ホームページをご覧ください。
下記の担当までお問い合わせください。
URL: <http://www.kitakata-shakyo.or.jp/>

担当: 喜多方市社会福祉協議会
総務事業課 総務係 TEL0241-23-7371

事業中止のお知らせ

新型コロナウイルスの感染を未然に防ぐため、本年度の下記事業は中止することといたしました。
楽しみにお待ちいただいた皆さん。誠に申し訳ございません。

- ふれあい社会福祉講座(例年7月開催)
○社協まつり(例年9月開催) ○児童館まつり(例年9月開催)

令和2年度 家族介護者リフレッシュ事業

(喜多方市委託事業)

在宅でご家族を介護されている市民の方を対象に、介護による心身の疲れを癒し、介護者相互の情報交換や交流などを通して、日頃の悩みや体験を分かち合う場として家族介護者リフレッシュ事業を実施いたします。

本年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大が懸念されることから、日帰りリフレッシュのみの実施となりますが、初めての方も参加したことのある方も是非ご参加ください。

日	時	令和2年10月9日(金)
	出発	9:30(喜多方総合福祉センター) 9:50(塩川いきいきセンター)
	帰着	16:00(塩川いきいきセンター) 16:20(喜多方総合福祉センター)
行先・内容	①猪苗代町 ホテルリステル猪苗代 ・細川佳那枝さんのオカリナミニコンサート ・コキア園&コスモス園の散策 ・素敵な豪華ランチを堪能 ②猪苗代町 デセールカワウチ ・おいしいケーキとコーヒーでほっと一息 ・介護相談、参加者交流会	
負担金	1,000円(当日ご持参ください)	
募集人員	20名	

◆新型コロナウイルス感染予防について◆

- ①参加者の皆さんには体調管理、体調チェックをお願いし、当日も検温、体調チェックを行います。また、マスクの着用もお願いします。
②バスは座席に余裕をもって座っていただき、車内の消毒、換気を徹底します。ホテル等でも消毒と適切な距離を確保します。

【対象者】介護保険による要介護、要支援の認定を受けている市内在住の方を、在宅で常時介護している市民の方。
※申し込みは先着順とし、定員になり次第受付を締め切りさせていただきます。

【申込】①参加される方のお名前 ②ご住所 ③年齢 ④郵便番号 ⑤電話番号 ⑥担当のケアマネジャー ⑦介護を必要とされている方の氏名 ⑧要介護度の内容をお伝えください。

【受付期間】令和2年8月3日(月)～9月30日(水)

喜多方市社会福祉協議会(本所 総務事業課) TEL0241-23-7371
熱塩加納支所 TEL0241-36-3112 塩川支所 TEL0241-27-3948
山都支所 TEL0241-38-3100 高郷支所 TEL0241-44-7111
◎参加決定者には後ほど、詳しい内容をご通知いたします。



※きたかた社協だよりの作成経費は、福祉活動支援金・賛助会員会費及び共同募金配分金等を活用させていただいております。